

協働・夢プロジェクト主催「5 days 協同組合インターンシップを開催しました

日程：2016年8月22日（月）～29日（月） 実実施日6日

参加者：5名（金城学院大学2名・愛知大学・愛知淑徳大学・中京大学の3年生）

内容：

1日目:8月22日(月)10:30-15:00 大学生協東海会館
体験先:大学生協東海事業連合(大学生協) 大学生協に限らない「生協」の成り立ち・役割・使命を学ぶ(大学生協新入職員対象導入研修より抜粋) ◆ 講義内容:生活協同組合の使命と私たちの仕事／大学生協の事業活動の概要と特徴／ビジネスマナー ◆ インターンシップ調査課題 提示
2日目:8月23日(火)10:00-16:00 南医療生協南生協病院
体験先:南医療生活協同組合(医療生協) 医療生協の組合員中心のまちづくり実践から、地域社会の課題と生協の役割を考える ◆ 南医療生協の概要と「おたがいさま」運動の説明 ◆ 星崎診療所見学及び星崎地区の組合員活動交流会、移動販売車の取り組み見学 ◆ グループホーム「なも」の見学(地域住民による、地域福祉の実践) ◆ 南生協病院の見学交流(組合員の声をふんだんに取り入れた病院づくりとは)
3日目:8月24日(水)10:30-16:00 東海コープ商品検査センター 他
体験先:東海コープ・コープあいち(地域生協) 組合員の暮らしを支える生協の中で中心的事業である「食」に着目し、食の安全と安心を担保する取組を学ぶ ◆ 東海コープ商品検査センター見学交流(食品の検査とは何か/検査センターでは働くとは) ◆ コープあいち上社店見学交流(一般小売りと生協の違い/組合員の参加とは)
4日目:8月25日(木)10:30-16:00 名古屋大学生協
体験先:名古屋市内生協(予定:名古屋大学消費生活協同組合)(大学生協) 学生組合員の「大学生活」に大きく関わる一方で、大学・教員の研究への貢献・大学職員への貢献も大学生協の役割の欠かせないひとつ。各大学に応じた生協の事業活動について、職員の仕事を体験しながら学ぶ ◆ 名古屋大学生協主要店の店舗見学および名古屋大学生協外販の同行 ◆ 名古屋大学内のコンビニ・一般店との比較調査
5日目:8月26日(金)
一般小売り(飲食店)と生協との比較調査(自主調査日とします)
6日目:8月29日(月)13:00-16:00 金城学院大学生協
体験先:金城学院大学生協(大学生協)

## 金城学院大学生協の見学交流

インターンシップを通して学んだこと、調査課題についての発表および意見交換

参加者の感想：

生協は、組合員が出資して成り立っていると知った。

組合員がいなければ成り立たない仕組みだと思った。他の小売店とはそういうところが異なる点だと知ることができた。大学生協のみならず、普段の生活に関わる部分(病院など)にも生協は存在すると知った。(1日目の感想)

私が、この日一番印象に残っているのは、老健あんきの見学である。今まで施設というのはすごく堅いイメージがあったけれど、ここは、自分の家のように温かく、また帰ってきたいと思えるような安心感を与える場所だった。人間が人間らしく生きるって、こういうことなんだなと感じることができた。(2日目の感想)

検査センターに行くという行動は、普段の生活では全く経験することがないので、とても貴重な経験をさせていただいた。独自の検査基準があり、検査は何十件、何百件にも及ぶことを学び、膨大な量だと思った。理系出身ばかりだと思っていたが、文系出身の方がいて、とても驚いた。

コープ上社店では、普段利用しているスーパーとは異なり、陳列もとても見やすく、購買意欲をそそられた。組合員と何回も話し合いをし生産している卵の話がとても印象に残っており、組合員からの意見をもとに作っていく生協の理念にあっていると思った。(3日目の感想)

地域生協見学で最も印象的だったのは「あいちの米たまご」です。飼料米を作ってもらえる農家を探すことから始まり、地元で作られているので消費者も安心でき、信頼できるのだと思いました。実際に店舗を見て、商品の量や商品ポップの工夫に驚きました。商品には生産地が見やすく示してあり、安心して購入できると思いました。(3日目の感想)

自分の大学には生協がなく、今回、大学生協を見学でき、良かったです。大学生協は学生の他にも教員や職員と多くの人に利用され、また、売店、食堂だけでなく、書店・旅行・保険と分野も広く、魅力的でした。印象的だったのは、組合員の学生による声カードが内容も様々で、おもしろいなと思いました。学生の声を大切にしているのがわかりました。(4日目の感想)

自分とは違う視点での考えがたくさんあって、学ぶことが多かった。また、自分の考えや意見を伝えることの難しさも感じたが、それとともに、考えや意見を相手に伝えることの楽しさも感じることもできた。(最終日の感想)

調査研究課題に取り組み生協の魅力をもっと深く考えることができました。職員との意見交流はとても緊張しました。5日間で学んだ自分の考えを口にするには想像より難しく感じました。意見交流では自分の考えを述べることで、さらに、こうすると良いのではないかなど、よりよい提案が考えられました。(最終日の感想)

2 日目の南医療生協の見学。生協が医療も行っていることに驚いた。自分たちがほしいと思った施設を自分たちの手で 1 から作り上げたという話がとても印象的だし、凄いという言葉で済ませるのは違うと思うが、凄いと思った。言ってみなければ、行動しなければ、何も変わらないのでやりたいと思ったことは言うことが大切だと思った。老健を見学させてもらったが、利用者主体で生活していて良い施設だと思った。施設だとしても共同生活になるため今までの生活リズムとは異なるが今までと同じように生活でき、人間らしい生活を送ることは大切だと思った。(全日程の中で一番印象に残っていること)

生協の外販に同行したことです。生協は組合員の方とのつながりを大切にしているということを学び、実際に外販に同行して、商品の説明だけでなく、組合員の方との会話、コミュニケーションを大切にしているのがよりわかりました。外販は堅苦しいイメージだったのですが、実際、外販で楽しそうに会話しているのを見て、組合員の方との信頼関係も感じられました。(全日程の中で一番印象に残っていること)

0823 南医療生協 星崎地区 イエローハウス(地域のたまりば) 見学



南医療生協人事育成課の南部さん、組合員理事の中村さんから、南医療生協の考える「まちづくり」、星崎地区で実践されている「まちづくり」について、紹介を受けている様子

この他、老人保健施設あんき、小規模多機能施設もうやいこの見学交流、南生協病院の見学などを行った

0824 東海コープ商品検査センターおよびコープあいち上社店 見学交流



東海コープ商品検査センターでは、松本センター長より、食の安全安心をどう考えるか、添加物の使用・取り扱いに対する考え方、食のリスクの捉え方、食品の安全性の担保としての検査などについて講義を受け、その後、実際の検査の様子、検査室の見学を行った



理化学検査の説明を受ける様子

コープ上社店では、副店長より、生協として意識している「店づくり」について、店を回りながら、具体的な実践事例について説明をうけた  
左下は、地元の生産者の産直野菜のコーナーでの説明



0825 名古屋大学生協 外販同行 減災館にて(減災館の説明と商談の見学)



この他に、飛び込み研究室訪問などにも同行  
生協職員と先生方との信頼関係の構築、先生方の研究などにどんな貢献をしているかなどを学んだ